

2020年12月25日発行

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラム vol. 96「健康心理学とスポーツ心理学とポジティブ心理学で元気を作る」 本多 麻子 (東京成徳大学)

1) 学会からのお知らせ (<http://jahp.wdc-jp.com/>)

■ 学術会議問題への対応のご報告 (理事長より)

日本学術会議の会員候補への任命拒否問題について、心理学諸学会連合を通じて、人文・社会系学協会連合連絡会から「共同声明」参加の呼びかけがありました。拒否理由を明らかにし、速やかな任命を求める内容です (<http://kokogakukenkuyukai.jp/files/scimei20201106.pdf>)。本学会は学術会議の連携会員の一人です。理事会で議論したところ多様な意見があり、「理事有志による賛同」との返信を送ることにいたしましたので、ご報告いたします。

■ 年会費納入のお願い (事務局より)

平素は学会の諸活動へご協力いただき、誠にありがとうございます。本年の年会費につきまして、未納入である場合、ご納入をお願い申し上げます。本学会は皆様からご納入いただきます年会費で運営をしております。学会活動の継続ならびにご活性化のためにも、ぜひともご納入をお願い申し上げます。

■ 2020年度「アーリーキャリアヘルスサイコロジスト賞」授賞の決定 (国際委員会より)

本賞は、健康心理学の国際学会での優れた発表に授与されるものです (2020年度は特例として、英語による論文・著書・分担執筆など第一著者としての掲載も対象といたしました)。以下の三氏に対する授与が決定し、日本健康心理学会第33回バーチャル大会会員集会において授与式が行われました。

- 野中俊介氏 (東京未来大学)
- 小川舞美氏 (東北大学)
- 小口真奈氏 (早稲田大学大学院)

■ ヘルスサイコロジスト83号の発行 (広報委員会)

ヘルスサイコロジスト83号が発行されました。本メールに添付しておりますので、併せてご高覧下さい。

2) 健康心理学コラム Vol. 96

「健康心理学とスポーツ心理学とポジティブ心理学で元気を作る」
本多 麻子 (東京成徳大学)

応用心理学部、健康・スポーツ心理学科に所属しています。学科の3本柱は健康心理学、スポーツ心理学、ポジティブ心理学です。心と身体の元気を作ることを目指しています。スポーツ経験のある学生が多く、元気でやんちゃです。卒業研究の指導ではスポーツに関連したテーマ

を希望する学生が多く、「情熱とか粘り強さとかをやりたい」→「Grit, 達成, 楽観性なんてどうかな」、「挫折経験と挫折からの成長をやりたい」→「挫折経験からのレジリエンスとか心的外傷後成長とかもいかも」等、なかなか興味深い研究テーマにあふれています。大学生を対象として、スポーツ、習い事、勉学における達成や伸び悩み経験と情熱の関連を調べました (本多, 2020)。目的は長期的課題におけるGrit, レジリエンス, 楽観性の関連を検討することでした。質問紙調査と、長期的課題遂行中の伸び悩み体験の内容と、その時の工夫や努力について自由記述を求めました。その結果、資質的・獲得的レジリエンスはいずれも楽観性, Grit と正の相関があり、悲観性と負の相関がありました。伸び悩み経験の主な内容は、記録が伸び悩み、周りとの差が生じる等でした。伸び悩んだ時の工夫や努力は、動画を撮る、自主練習をする、怪我の場合はリハビリテーションに励む等でした。伸び悩み経験後に目標達成した者のGrit, 楽観性, 資質的・獲得的レジリエンスは辞めた者よりも高いことが明らかとなりました。挫折経験とそこから成長についても興味深い結果が出たので、今後発表します。

引用文献

本多麻子 (2020). 達成と情熱のポジティブ心理学的検討—Grit, レジリエンス, 楽観性の関連— 東京成徳大学研究紀要, 27, 87-98.

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更は下記アドレスまで

日本健康心理学会事務局 <jahp-post@bunken.co.jp>

メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで

広報委員会 <jahp-ML@bunken.co.jp>

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます

<http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html>